

仁清 乾山

京のやきもの絵画と

江戸時代を代表する陶工、野々村仁清（生没年不詳）と尾形乾山（一六六三—一七四三）。京都で活躍した二人は、日本のやきものの歴史の中で最も有名な人物です。野々村仁清は鮮やかな色絵陶器を完成させた人物とされ、「京焼の祖」とも言われています。仁清の作り出す端正で雅やかな器は公家や大名家に重用されました。一方、尾形乾山は、仁清に続いて京焼を発展させ、兄・光琳との合作の絵皿など、絵画とやきものを融合させた、これまでにない革新的な器を生み出しました。本展では、仁清の制作年月が判明する稀少な作品「色絵輪宝羯磨文香炉」や、華やかな秋の情景を凝縮した乾山の「色絵竜田川文透彫反鉢」を中心に、岡田美術館収蔵の仁清と乾山の作品を一堂に展示いたします。青、緑、金の色調と技巧を凝らしたデザインが魅力の古清水、京の絵師、尾形光琳や伊藤若冲の作品などと併せて、都で開いた典雅な世界をお楽しみください。

講演会
●「京焼と琳派」
講師：小林忠（岡田美術館館長）
日時：2017年12月3日（日）
●「仁清と乾山―絵と焼物という視点から―」
講師：伊藤嘉章氏（九州国立博物館副館長）
日時：2018年3月18日（日）

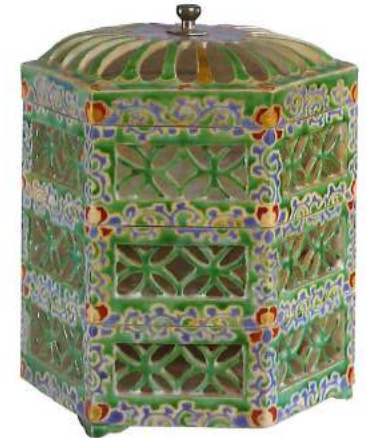
時間：午後1時～午後2時30分
会場：5階ホール
定員：80名
参加費：無料（要入館料）
お申し込み方法
電話にてお名前・人数・ご連絡先をお知らせください。定員に達し次第、応募を締め切らせていただきます。
0460-871-3931

ギャラリートーク
●館長によるギャラリートーク
毎月第2水曜日開催
11月8日、12月13日、1月10日、2月14日、3月14日
●学芸員によるギャラリートーク
11月10日～3月23日の
毎週金曜日開催
※いずれも午前11時～
申込不要・参加無料（要入館料）

京のやきもの



色絵秋草文茶碗



色絵花唐草文七宝透彫段重



野々村仁清
色絵雁香合



野々村仁清
色絵星文茶碗



重要文化財
野々村仁清
色絵輪宝羯磨文香炉

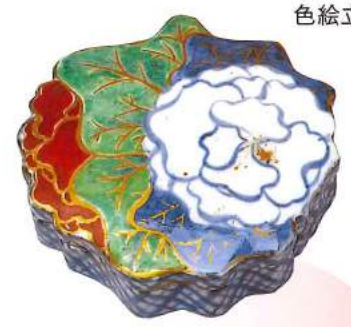
仁清



尾形乾山
夕顔・楓図

Ninsei & Kenzan

Ceramics and Painting in Kyoto



尾形乾山
色絵立葵図香合



尾形光琳
菊図屏風

京で活躍した絵師たち



伊藤若冲
三十六歌仙図屏風

乾山



尾形乾山
色絵菊文透彫反鉢



重要文化財
尾形乾山
色絵竜田川文透彫反鉢